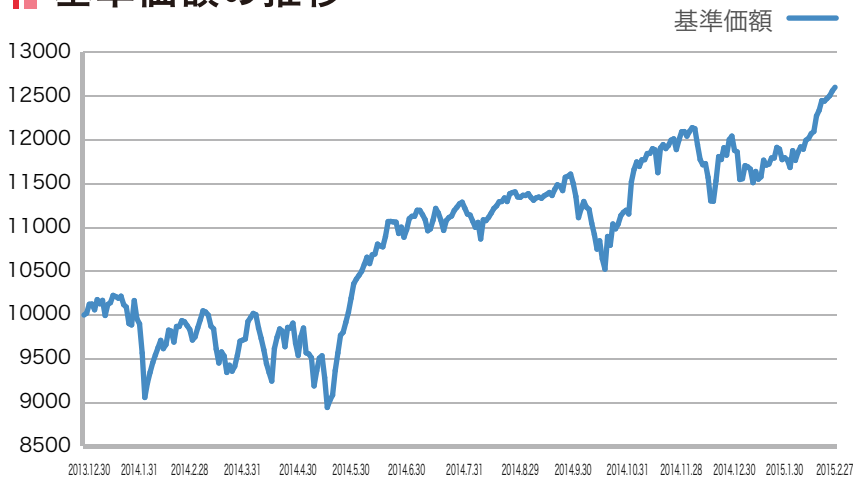




基準日 2015年2月27日付

## 基準価額の推移



## ファンドのデータ

基準価額	12,602円
純資産総額	2,737百万円
受益権総口数	2,172百万口
顧客数	977人

## ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	94.9%	+9.6%
現金等	5.1%	▲9.6%
構成銘柄	53社	±0社

## 分配実績

第1期 (2014年12月18日)
0円

## 基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
6.82%	5.00%	11.08%	28.15%	26.02%

## 運用の特色

### ①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

### ②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

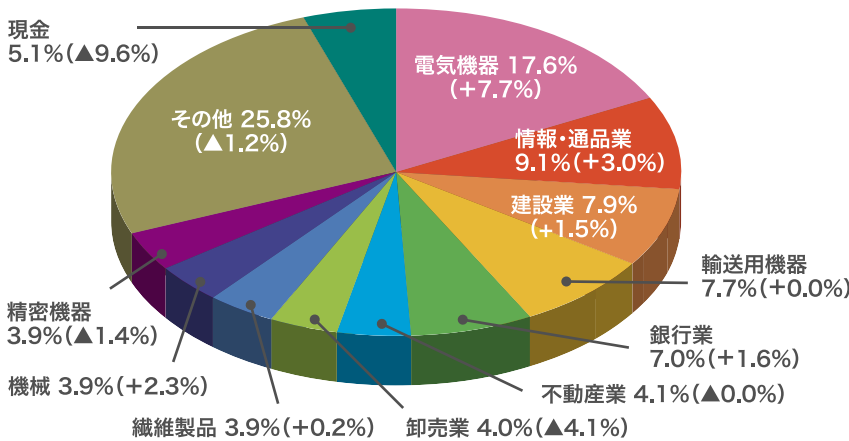
### ③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

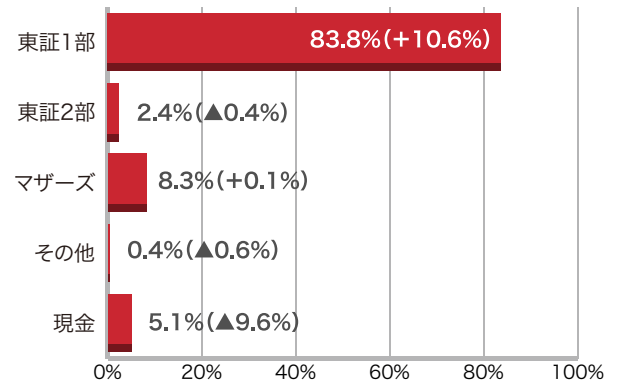
基準日 2015年2月27日付

## 業種別構成比 ( )内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## 市場別構成比 ( )内は前月比



## 組入上位5銘柄

(2015年1月30日現在)

銘柄名	市場	業種	比率
デンソー	東証1部	輸送用機器	4.7%
三井物産	東証1部	卸売業	3.9%
大林組	東証1部	建設業	3.9%
CYBERDYNE	東証マザーズ	精密機器	3.5%
富士通	東証1部	電気機器	3.2%

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

## 組入上位5銘柄の紹介

(2015年1月30日現在)

銘柄名[コード]	概要
デンソー [6902]	1949年にトヨタ自動車から分離独立し「日本電装」として創業。自動車市場の拡大や自動車のモジュール化(複数の機能をまとめた部品にすること)などが追い風となる。今後の成長が期待される自動運転では、ソフトウェア開発に注力するとともに、技術力を武器に強みを発揮していく見込み。
三井物産 [8031]	三井グループの中核企業。「人の三井」と評価が高く、社会に役立つ人材を育成・輩出してきた。今期始まった中計では、キャッシュ創出と株主還元(配当性向目標3割への引き上げ、自社株買い)の姿勢を鮮明にする。総合商社の中でも資源関連比率が7割強と高い。
大林組 [1802]	1892年、大林芳五郎が大阪において創業した大手ゼネコン4社の一角。大阪圏だけでなく、首都圏比率も高い。早くから海外に目を向け、タイの建設市場ではトップグループに位置する。企業文化として、創業者の信条の「損して得とる支払い哲学」が受け継がれている。
CYBERDYNE [7779]	ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。
富士通 [6702]	通信機器メーカーとして創業。欧州パソコン子会社の人員削減やスマホの製造拠点統廃合、半導体製造拠点の売却など構造改革を推進。成長ドライバーは、クラウドやビッグデータ分析など新しい技術を活用して企業の生産性を高めるITサービス。海外展開も本格化。

## 市場概況と運用状況

### 市場環境

2月の日経平均は月初、日本の長期金利急上昇などから急落しましたが、その後は月末にかけてほぼ一本調子の大幅上昇となりました。中旬にかけては、良好な米雇用統計や日銀の追加緩和期待、円安進行などを背景に公的資金と推測される買いが相場を押し上げました。その後もギリシャに対する支援が4ヶ月延長されたことや、FRB(米連邦準備制度理事会)イエレン議長の議会証言で利上げに慎重な姿勢を確認できたことなどから、月末にかけても高値圏で堅調に推移しました。2月の月間リターンは、日経平均6.36%上昇、TOPIX7.69%上昇となりました。

詳細は以下の通りです。月初は日本10年債入札が不調に終わったことによる長期金利の急上昇などから大きく下落し、3日の日経平均は月間最安値17271円(ザラ場)となりました。しかしその後は月末にかけてほぼ一本調子の大幅な上昇相場となりました。中旬にかけては、6日米雇用統計の良好な結果が投資家心理を改善、G20(20カ国財務大臣・中央銀行総裁会議)にて世界的な金融緩和政策の維持が提唱されたことを受け日銀追加緩和期待が浮上したことや、11日にドル円が120円まで円安になったことなどの好材料を背景に公的資金と推測される買いが相場を押し上げました。中旬以降、16日ユーロ圏財務省会合にてギリシャ債務問題が物別れに終わるなど嫌気される場面もありましたが、最終的に支援の4ヶ月延長が決定されたことや、24日のFRB(米連邦準備制度理事会)イエレン議長の議会証言で利上げに慎重な姿勢を確認できたことなどから、月末にかけても高値圏で堅調に推移し、最終日となる27日に日経平均は月間最高値18865円(ザラ場)となりました。

指数別で見ると、TOPIX(+7.69%)や日経平均株価(+6.36%)は大きく上昇し、JASDAQ指数(+3.84%)や日経JASDAQ平均(+3.28%)、東証2部(+2.04%)は小幅な上昇となりました。一方、東証マザーズ指数(▲0.48%)は前月に引き続き下落となりました。TOPIX規模別を上昇順に見ると、コア30(+9.73%)、ミッド400(+7.39%)、ラージ70(+6.48%)、スモール(+4.48%)となっています。TOPIX業種別株価指数の騰落率上位3位は、その他金融業、銀行業、証券業。同下位3位は、空運業、電気・ガス業、ゴム製品でした。なお33業種のうち30業種が上昇しています。

### 投資行動とパフォーマンス

(組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります)

#### ◎2月のポートフォリオ

株式等組入比率は94.9%(前月末比+9.6%)に引き上げており、逆にキャッシュ比率は5.1%(同▲9.6%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部83.8%(同+10.6%)、マザーズ8.3%(同+0.1%)などとなります。組入比率を引き上げた業種は、電気機器17.6%(同+7.7%)、情報・通信9.1%(同+3.0%)などです。逆に引き下げた業種は、卸売業4.0%(同▲4.1%)、陸運業0.0%(同▲1.9%)などです。組入銘柄数は前月末と同様の53銘柄となりました。

#### ◎2月の投資行動

株式等組入比率について、マーケット下落に伴い月初(2~6日)まもなく99%台まで引き上げた後、株価上昇に合わせて中旬にかけて95%程度まで引き下げました。中旬において、ギリシャ債務問題の先行き不透明感による株価下落リスクを回避するため一時的に85%程度まで引き下げました。その後、同問題における一応の決着を確認した下旬には速やかに同水準を引き上げ、月末にかけては95%程度(93~99%)を維持しました。組入業種の構成については、月初に電気機器と情報・通信の組入比率を引き上げ、及び卸売業と陸運業の引き下げを実施しました。

#### ◎2月のファンド月間リターン

2月末の基準価額は12602円(1月末11797円)、ファンドの月間リターンは6.82%上昇となりました。当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIXは7.69%上昇となっています。ご参考として当ファンドのリターンがTOPIXを下回った要因は、月を通して約8%程度組み入れている東証マザーズ指数がTOPIXに比べて約8%アンダーパフォームしたこと、また月を通して3.5~4.0%程度ずつ組み入れていた電気・ガス業や繊維製品がTOPIXに比べてアンダーパフォームしたことなどです。

2015年3月6日 運用部長 糸島 孝俊

## メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
2月2日	日経電子版	<a href="#">マネー底流潮流「日本株、原油安の光と影の攻防へ」</a> の中で伊井がコメントしました
2月9日	BSジャパン	『日経朝とく』に糸島が出演いたしました
2月5日	日経新聞	<a href="#">17面「低PBR株に資金移動」</a> の中で糸島がコメントしました
2月5日	AllAbout	<a href="#">AllAboutの注目の投資信託の最新情報にザ・2020ビジョンが取り上げられました</a>
2月9日	グッドウェイ	金融&IT業界の情報ポータルサイト GoodWayがコモンズ30塾【セブン&アイHD】を記事にしてくださいました
2月14日	日経新聞	<a href="#">17面「高ROE銘柄にも株価格差」</a> の中で糸島がコメントしました
2月15日	日経電子版	<a href="#">マネーブログカリスマの直言「良識ある資本主義&gt;21世紀の資本」</a>
2月20日	日経DUAL	<a href="#">渋澤健 チェンジメーカーの7つの感情 第2回ポピズ中村紀子社長「ありのままで〜なんて嘘よ」</a>
2月25日	ラジオNIKKEI	『東証+YOU』に渋澤が出演しました
2月26日	STOCK VOICE	東京マーケットワイドに糸島が出演しました
2月27日	時事.com	<a href="#">重要:証券業界、子ども版NISAに熱視線=金融資産、移転期待で「こどもトラスト」が紹介されました</a>

## セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
コモンズ 6 周年記念イベント	4月5日(日)	11:00~16:00	東京都千代田区(イタリア文化会館)
	5月30日(土)	13:00~16:00	大阪府大阪市(日本綿業倶楽部)
	5月31日(日)	9:30~12:00	愛知県名古屋(ウイックあいち)
はじめてのコモンズ~投資ビギナーズ編~	3月30日(月)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	4月30日(木)		
はじめてのコモンズ~はじめて編~	3月12日(木)	13:30~15:00	
	4月23日(木)	10:30~12:00	
パパとママのためのこどもトラストセミナー	3月20日(金)	10:30~12:00	
	4月10日(金)		
「コモンズ 30 ファンド」「ザ・2020 ビジョン」 ファンド説明会	3月14日(土)	14:00~16:00	
	4月11日(土)		
くつろぎ BAR	3月18日(水)	18:00~20:00	
	4月15日(水)		
「ザ・2020 ビジョン」 運用報告&マーケット見通し、個別相談会	4月17日(金)	19:00~21:00	神奈川県横浜市 (TKP横浜駅西口カンファレンスセンター)
	4月18日(土)	10:00~12:00	東京都中央区 (TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター)
	4月18日(土)	17:00~19:00	福岡県福岡市 (リファレンス駅東ビル貸会議室)
	4月19日(日)	13:00~15:00	兵庫県神戸市(plug078)
コモンズまなび塾 「はじめて学ぶ 投資信託」DAY1~3	4月14日(火)	16:00~17:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	5月12日(火)		
	6月9日(火)		

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

## お知らせ

### キャンペーンのお知らせ

「ザ・2020 ビジョン」のファンド1周年&糸島の新著発売を記念したキャンペーンを実施中です。3月末までに、「ザ・2020 ビジョン」を一括で20万円以上お買付いただいたお客様に糸島のサイン入り本を進呈いたします。詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.common30.jp/files/uploads/201502-03\\_20v\\_cam.pdf](http://www.common30.jp/files/uploads/201502-03_20v_cam.pdf)



## ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	<b>■コールセンター</b> (受付時間/平日 9時~17時) <b>03-3221-8730</b>	<b>■メール</b> <b>commons-call@commons30.jp</b>
	<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	
<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p><b>コモンズ投信株式会社</b> 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>		